

ふくしまユニバーサルデザイン推進計画に係る事業実績(令和5年度)に関する意見等

資料2-1

意見No.	ページ	施策No.	事業名等	担当部局等	担当各課(室)	提案委員	意見等内容	担当課回答
①	2	3	健康教育推進者研修会	教育庁	健康教育課	市岡委員	他の事業内容と同様に、研修会の開催日、参加人数などの概要を明記すべきと考えます。	8月3日 県南地区 参加人数：71名 8月8日 県中地区 参加人数：175名 8月21日 会津・南会津地区 参加人数：131名
②	2	4	思春期相談	こども未来局	子育て支援課	市岡委員	事業費はないということでしょうか。	お見込のとおりです。 なお、思春期相談マップを作成し県ホームページへの掲載を実施いたしました。 また、他事業で設置されている相談窓口において、思春期相談にも対応しております。
③	2	5	「性に関する指導の手引き」活用事業	教育庁	健康教育課	市岡委員	他の事業内容と同様に、研修会の開催日、参加人数などの概要を明記すべきと考えます。	・第1回改訂実行委員 令和5年6月30日 参加人数：42名 ・第2～4回改訂実行委員会各部署会毎に実施 ・第5回改訂実行委員会 令和5年12月8日 参加人数：38名
④	2	6	①女性のための相談支援センター事業 ②虐待から子どもを守る総合対策推進事業	こども未来局	児童家庭課	市岡委員	①はR5年度実績なしとありますが、事業費は明記されていますので、どういふことか確認したい。	①について、事業費0円、②について、事業費23,853千円となっております。資料につきましても修正しております。

ふくしまユニバーサルデザイン推進計画に係る事業実績(令和5年度)に関する意見等

資料2-1

意見No.	ページ	施策No.	事業名等	担当部局等	担当各課(室)	提案委員	意見等内容	担当課回答
⑤	5	15	みんなでつくる心の地域包括ケアシステム構築推進事業	保健福祉部	障がい福祉課	市岡委員	実施された取組の具体的な内容をお尋ねしたい。	<p>1 精神障がい者地域移行・地域定着促進事業 各圏域の地域課題、取組の共有や各種研修会を開催 ・精神障がい者地域移行・地域定着促進検討会 3回 ・精神障がい者地域移行・地域定着圏域ネットワーク強化研修 6回 ・精神障がい者理解促進研修会 8回</p> <p>2 精神障がい者ピアサポーター活動支援事業 精神障がい者ピアサポーターの養成等や雇用に向けた研修会を開催 ・精神障がい者ピアサポーター養成研修 1回 ・雇用促進事業所向け研修会 1回 ・精神障がい者ピアサポーター活動支援研修 4回</p> <p>3 精神科訪問看護人材育成支援事業 精神科訪問看護の支援体制を強化するため各種研修を実施 ・精神科訪問看護基本療養費算定要件研修会 1回 ・精神科訪問看護コンサルテーション 3回</p> <p>4 精神障がい者の家族支援事業 精神障がい者の家族等を支援するため、各種研修会、交流等を実施 ・精神障がい者家族会学習会 22回 ・精神障がい者家族相談研修会 1回 ・精神障がい者スポーツ・レクリエーション等教室 1回</p>
⑥	5	16	介護実習・普及事業	保健福祉部	社会福祉課	市岡委員	8回の高齢者疑似体験とありますが、1回の費用が約400万円でしょうか。他の事業内容もあるようですが、誤解が生じないように資料への記載をお願いしたい。	<p>介護実習・普及事業として、県民向け介護講座(44回開催・1,259名受講)、介護専門職員向け研修(16回開催・315名受講)、福祉機器展示室の運営(利用者数2,852名、相談者数121名)を実施しました。</p>

ふくしまユニバーサルデザイン推進計画に係る事業実績(令和5年度)に関する意見等

資料2-1

意見No.	ページ	施策No.	事業名等	担当部局等	担当各課(室)	提案委員	意見等内容	担当課回答
⑦	5	17	国際交流員設置事業	生活環境部	国際課	市岡委員	6回の国際理解講座実施とありますが、1回の費用が約180万円でしょうか。	国際交流員設置事業を予算約146万円については、国際交流員の報酬等計上しているものであり、その報酬の中で国際理解講座を無償で実施しております。
⑧	12	41	地域学校協働本部事業(地域学校協働活動補助事業)	教育庁	社会教育課	市岡委員	地域学校協働本部事業の事業費の内訳を説明していただきたい。	地域学校協働活動補助事業は、28市町村に補助金を交付している。(R5実績) 市町村への補助額は、67,084(千円)となり、内訳としては、国庫33,519(千円)、県33,565(千円)である。 なお、市町村負担分は、33,608(千円)である。
⑨	29	88	障がい者の社会参加促進事業(再掲)	保健福祉部	障がい福祉課	富樫委員	2024年4月より施行されてる「合理的配慮」の理解について、セミナー1回(248名)の実施のみですが、まだまだ周知にはいたっていない。今後の推進(取組)について述べてほしい。	企業等を対象とした合理的配慮セミナーについて、今年度は3回実施する予定。(6月に1回目を実施(参加者54名)) 合理的配慮については、平成31年度から実施している、広く県民を対象とした「ふくしま共生サポーター養成講座」でも説明しているため、企業向けのセミナーとあわせて、引き続きサポーターの養成に努めていく。
⑩	33	107	市町村生活交通対策のための補助事業	生活環境部	生活交通課	富樫委員	主体的に運行するデマンド型集合タクシー事業など、生活交通対策事業の支援について、具体的にどのようなことをしたのか知りたい。	デマンド型乗合タクシー等の実証運行を行う市町村に対して補助金を交付している。内容については以下のとおり。 ○補助内容 ・実証運行の補助対象期間：1～2年目 ・補助率：1年目1/2(上限5,000千円) 2年目1/3(上限3,000千円) ・実証内容：①一般タクシー(いわき市、本宮市) ②デマンド型タクシー(鮫川村) ③デマンド型乗合タクシー(西郷村、田村市) ④AIオンデマンド乗合タクシー(喜多方市) ⑤通勤通学バス(大玉村) ⑥コミュニティバス(矢吹町)